

3. 博物館等

(1) 施設概要

① 設置目的・業務内容

■ やきものの里かわら美術館

設置目的	かわらを基本テーマとし、歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料を収集・保管・展示して一般の利用に供し、市民の教養、調査研究等に資するために必要な事業を行い、あわせて美術館資料に関する調査研究をするため。
業務内容	(1) 美術館資料を収集、保管、展示すること。 (2) 美術館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。 (3) 美術館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。 (4) 美術館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (5) 美術館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。 (6) 他の美術館等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、美術館資料の相互貸借等を行うこと。 (7) 学校、図書館、公民館等と協力し、その活動を援助すること。 (8) 陶芸創作室、ホール、スタジオ等を設置して、利用に供し、又は映画、音楽、舞踊、演劇等の芸術文化活動の振興に必要な事業を行うこと。

② 施設一覧

やきものの里かわら美術館は、当地域が生産量日本一を誇る三州瓦の中心的な産地であることから、日本で唯一の「かわら」をテーマにした美術館として、平成7年に開館しました。常時、展覧会を開催しているほか、陶芸創作体験やコンサートなどでも利用可能となっています。芸術文化活動の拠点としてホール、スタジオ、講義室・会議室の貸出も行っています。

名称	住所	延床面積 (m ²)	建築 年度	保有機能		
				博物館等	文化機能 (ホール)	集会機能
1 かわら美術館	青木町九丁目6番地18	4,669	平成5	●	●	●

図 施設配置図



③ 開館日・開館時間

開館する日、開館する時間は条例によって定められています。休館日は、毎週月曜日（休日の場合を除く）、休日の翌日、および年末年始（1月1日から4日までおよび12月28日から31日まで）となっています。

開館時間について、美術館資料の展示を観覧できる時間は9時から17時まで、講義室、会議室、陶芸創作室、ホール、ホワイエ、スタジオまたは楽屋を利用することができる時間は、9時から21時までとなっています。

名称		開館時間	休館日
かわら美術館	展示	9:00~17:00	毎週月曜日、休日の翌日、年末年始
	講義室・会議室・陶芸創作室・ホール 等	9:00~21:00	

④ 観覧料金・スペース貸利用料金

観覧料金は、高校生以上と中学生以下に区分されており、中学生以下は無料となっています。高校生以上は有料で、常設・企画展は200円、20名以上の団体は160円/人、特別展観覧料金は、特別展ごとに定めることになっています。

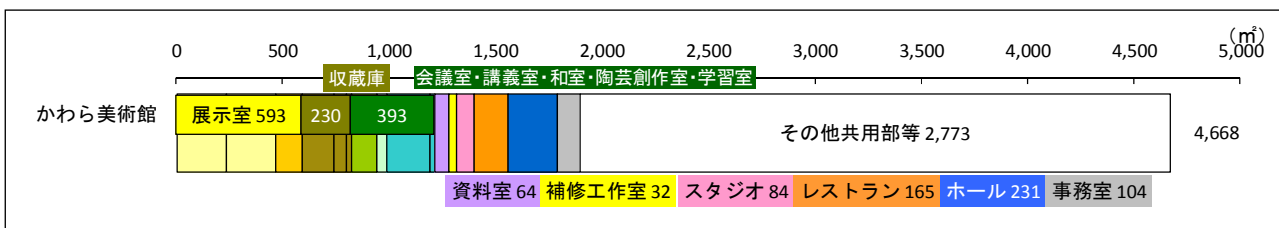
スペース貸の料金は1時間ごとの料金となっています。諸室の面積で除すると、一律約9円/時間となります。

施設	区分	利用料金（円/時間）		
		料金表(円/時間)	1㎡当たりの料金(円/時間)	面積(㎡)
かわら美術館	ホール	2,110	9.1	231
	ホワイエ	220	—	—
	講義室	730	9.0	81
	会議室	320	9.1	35
	スタジオ	760	9.1	84
	楽屋1	170	—	—
	楽屋2	150	—	—

⑤ スペース構成

かわら美術館は、展示室のほかに会議室、講義室、和室、陶芸創作室、学習室等の集会施設機能、最大180席のホールおよび20席のシアター（文化施設機能）を保有しています。展示室の延床面積は593㎡（21.3%）、集会施設機能は393㎡（8.4%）、文化施設機能は230㎡（4.9%）となっています。

図 スペース構成

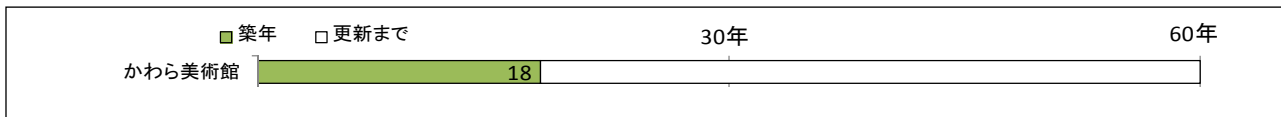


(2) 実態把握

① 建物状況

■ 老朽化状況

かわら美術館は、平成5年建築で築後17年が経過しています。今後、大規模改修等の老朽化対策が必要となります。

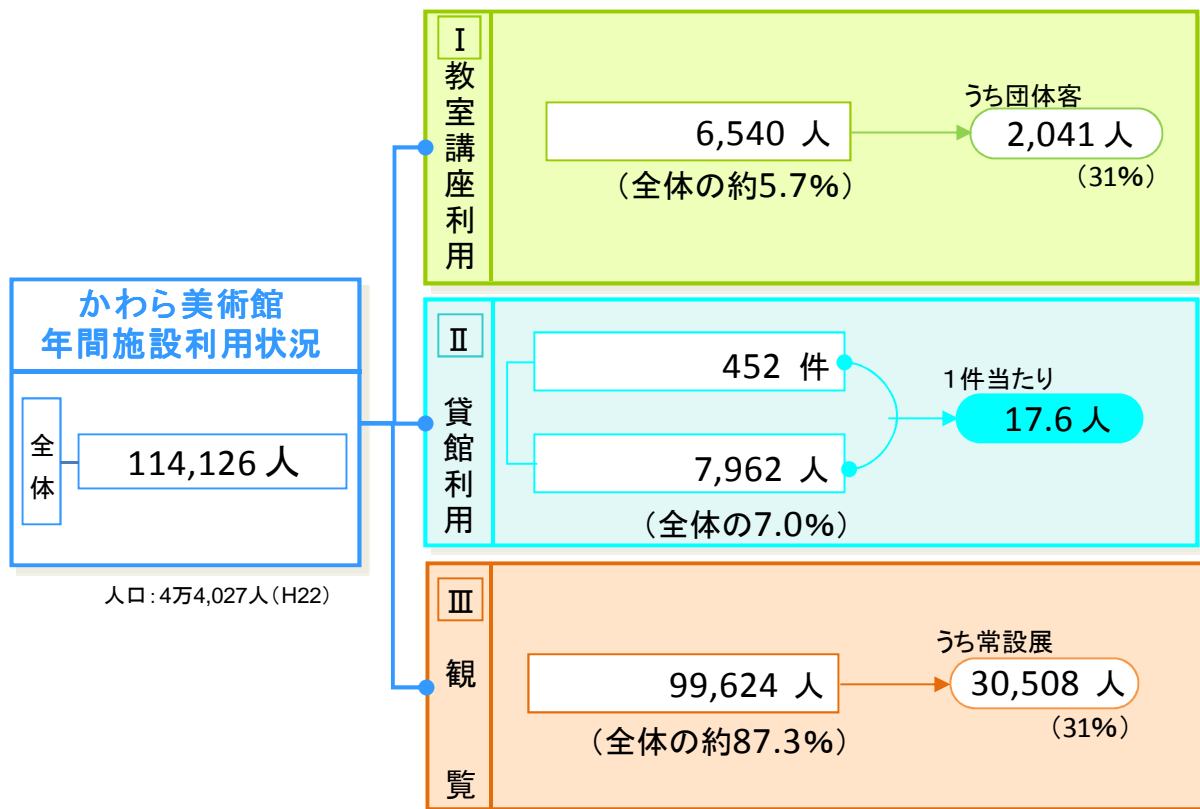


■ 耐震化状況

耐震診断	耐震補強工事	判断基準
不要	不要	新耐震基準のため

② 利用状況

かわら美術館の年間利用者数は11万4,126人で、1人当たり年間約2.6回利用していることとなります。貸館利用において、1件当たりの利用者数は17.6人となっています。年間利用者数のうち、陶芸教室および講座の利用者数は6,540人(5.7%)です。貸館の利用者数は7,962人(7.0%)です。観覧利用者数は、9万9,624人(87.3%)となっています。



■利用件数・利用者数（観覧者、陶芸教室等参加者を除く）

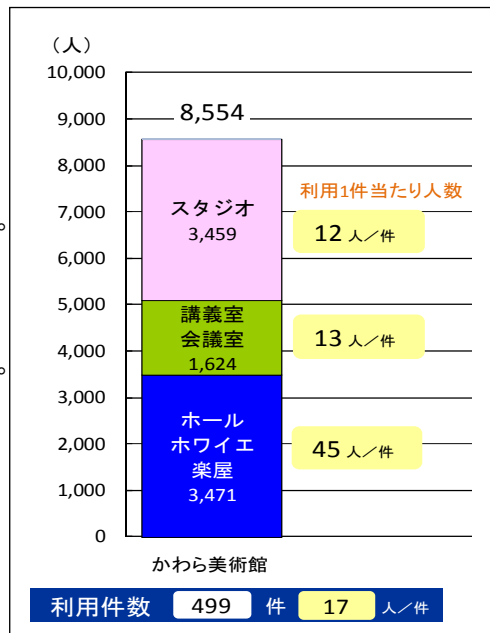
貸室利用者数は 8,554 人、利用件数は 6,992 件となります。スタジオとホール等は利用者数としては同じ割合ですが、件数がスタジオ 300 件、ホール等 77 件であるため、1 件当たりの利用人数は異なります。

スタジオは、年間 3,459 人の利用者があり、全利用者に占める割合は 24%となっています。利用件数は 300 件です。最も多い月は 10 月で 32 件、少ない月は 1 月で 19 件です。

講義室および会議室は、1,624 人の年間利用者数で、割合は 11%となっています。利用件数は 122 件となっています。最も多い月は 10 月の 19 件で、少ない月は 4 月で 3 件です。

ホール・ホワイエ・楽屋の年間利用者数は、3,471 人となっており、約 20%の割合を占めています。年間の利用件数は 30 件です。最も多い月は 3 月の 10 件です。4 月、8 月、10 月、2 月の利用は 0 件となっています。

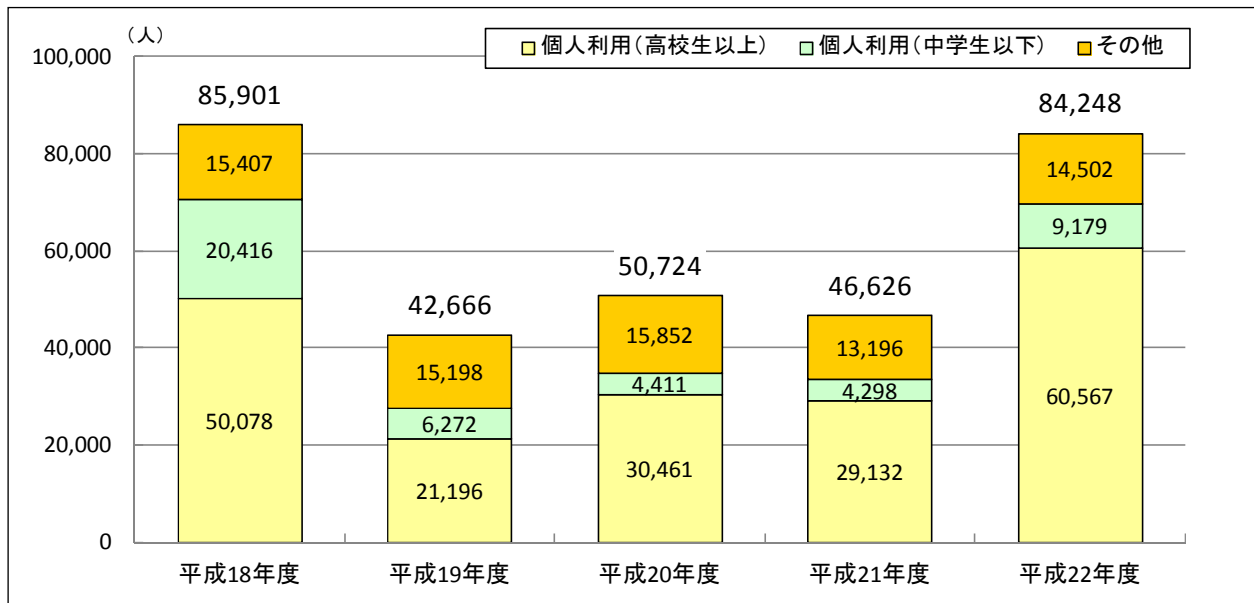
図 諸室別利用件数および利用者数



■利用状況推移

観覧者および貸室利用者の推移を見ると、高校生以上の個人利用が最も多くなっています。平成 19 年度から 21 年度は利用者が大きく減少していますが、22 年度は 18 年度の水準に戻っています。

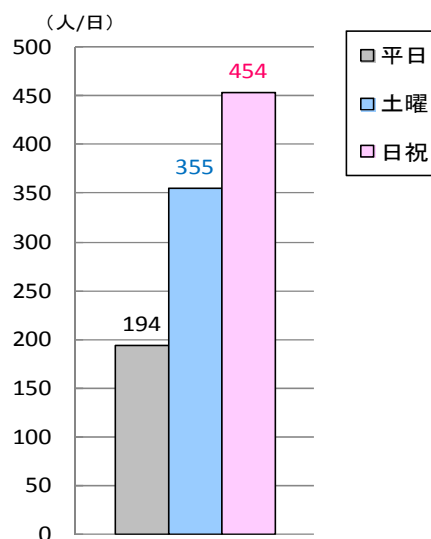
図 目的別利用者数



■曜日別利用状況

かわら美術館の利用者数を、平日、土曜日、日祝日の運営日数で除し、1日当たりの利用者数を見ると、日祝日の利用者が最も多くなっています。日祝日は、1日当たりの利用者数が454人となっており、土曜日の1.2倍(355人)、平日の2.3倍(194人)となっています。

図 曜日別利用状況



③ 運営状況

かわら美術館は、複数の企業による運営共同事業体が指定管理事業者として運営を行っています。館長と副館長は市に属しています。

図 本市と指定管理事業者との連絡体制

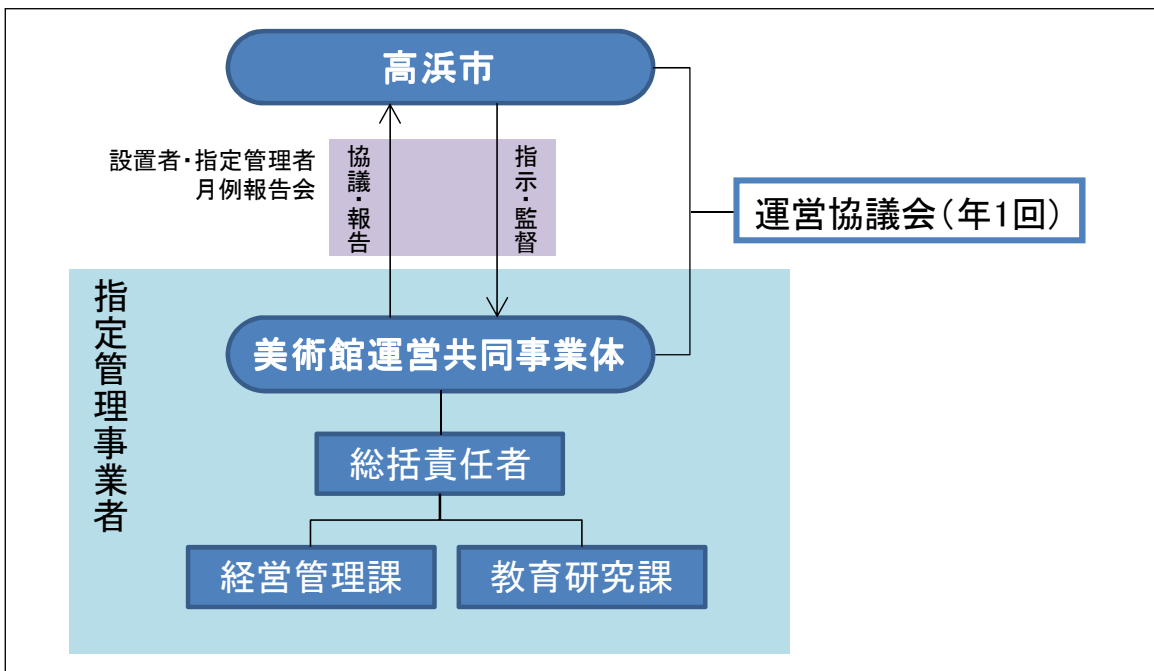


図 運営体制

		8:30	17:00
かわら美術館	平日	指定管理事業者職員 8人	
	土日		
祝日			

④ コスト状況

指定管理委託料とは別途修繕費として約 75 万円を支出しています。

図 行政コスト計算書

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		かわら美術館
施設にかか るコス ト	一般職員人件費	725,197
	修繕費	752,647
	改修費	0
	光熱水費	0
	委託費	0
	使用料及び賃借料	0
	施設にかかるコスト	1,477,844
事業運 営にか かる コス ト	一般職員人件費	1,208,661
	非常勤職員人件費	1,884,000
	臨時職員人件費	0
	使用料及び賃借料	0
	車両・備品購入費	0
	負担金補助及び交付金	0
	その他物件費	0
	事業運営にかかるコスト	3,092,661
指定管理料	155,877,000	
現金収支を伴うコスト 計 (A)	160,447,505	
【収入の部】		
収入	使用料収入	991,640
	諸収入	0
収入の合計 (C)	991,640	
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額 (B)	58,228,974
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト) (A+B)	218,676,479	
収支差額(ネットコスト) (A+B-C)	217,684,839	

表 トータルコスト

